

第 22 回放送番組審議会議事録

日 時 令和 3 年 3 月 17 日（水）午後 1 時 30 分から午後 3 時 15 分

場 所 (株)鳥取テレトピア会議室

出席委員 田渕 雅昭（会長） 藤原 俊文
（敬称略） 前田 四寿子 中村 徹

欠席委員 山本 泰子 窪田 清恵

放送局出席者 秋山 光行（代表取締役社長）
寺垣 博俊（常務取締役） 橋尾 千秋（制作部次長）

【報告事項】 (2020 年度の自主制作番組について)

コロナ禍で取材が制限され番組の縮小が余儀なくされたが、番組編成は変えず、また各番組も大幅な変更も行なわず、過去の番組を再構成した放送やイベントの無観客収録、放送などを行いその時々ニーズを捉えた番組を放送した。

また、開局 20 周年に伴う特別企画番組の放送や視聴者キャンペーン、及びアンケートを実施。引き続き視聴者の要望に応える番組作りに取り組みたい。

【審議内容】 ①自主放送番組について

②番組視聴・合評
「アグリ応援団～その作業手伝います」
白ネギの雪害対策

●自主制作番組へのご意見、ご要望

委員 ぴよんぴよんネットのいろんな番組を通してコロナ禍での取材の大変さが伝わってきた。

「ほのまるが行く」や「畑ごはん」は楽しみに見ている。

運動部も楽しく見ており、一緒に動こうとするが少し難しいので高齢者でも楽しく動ける運動をやってほしい。
また、パソコン初心者向けの講座（高齢者含む）をやってほしい。

委員 仕事をしているので日中は見られないが、帰宅後から番組が終わるまでになるべく見るようにしている。料理番組「畑ごはん」や「ほのまるが行く」はよく見ている。
身近な放送局としてよくがんばっているなあと、感じている。

委員 ケーブルテレビの特性でもあるが、繰り返し見ることが出来るので重宝している。
興味ある内容の時は2,3回見ている。

委員 情報はどのように入手しているのか。
→主催者から直接電話、FAX等で入ってくる場合もあるが、公民館行事などインターネットで収集したりしている。

委員 （開局して）20年の歴史に基づく（行事など）のデータベースもあると思う。

委員 南部地域などは総合支所を通じて自治連合会の会合等で情報提供の依頼をしてはどうか。

委員 各地区に区長会はあるが、情報提供の呼びかけは難しいと思う。
例えば、公民館のサークル活動などを取材し、参加者を巻きこむことで自分や知り合いがテレビに映れば、積極的に見ると思う。視聴が増えれば、加入者増加につながるのではないか。公民館まつりの芸能発表も人気があるが、各ブロックで1団体と少ない。公民館では様々な活動をしているのでその人たちを巻き込んでどうか。
また、各地で始まった学校の校区再編に関することや、共助交通など取り上げてほしい
→校区再編に関する特別番組を今月末放送予定。

●視聴番組に対してのご意見、ご感想など

委員 自分が農業をしていることもあり、アグリ番組は興味深くよく見ている。様々な作業があることがよくわかり、勉強になる。白ネギは反収は良いが、消毒、土寄せなど作業が大変なので新規で始めてもなかなか続かないようだ。

委員 寒い中、水川さんが一生懸命作業している姿が伝わってくる。家族が水稻、野菜栽培などしているが自分はやっていない。これから家庭菜園をやろうとしているので農業番組は参考になる。

委員 農業は家庭菜園で趣味程度に行う分には楽しいが、専門で行うとなると様々な作業があり、大変なことが伝わってきた。

委員 農家でないので詳しくはわからないが、例えば市民農園や借り農園などの利用者のお手伝いなどをしてはどうか。